

# 2020年度日向灘

mini

新会長  
御挨拶

一般社団法人宮崎県設備設計事務所協会

新会長 馬崎 康輔

連日の報道のように新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中が閉塞感に覆われて厳しいものがある状況の中で日本においては緊急事態宣言も解除となり、安堵している今日でございます。

さて皆様には益々ご繁栄のこととお喜びを申し上げます。

平素は当協会の運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、令和2年6月5日、ウェルシティにおける定時総会において、岩満会長の後任として会長職を担う事となりました。その重責をひしひしと感じ身の引き締まる思いでございます。

岩満前会長の長年に亘る功績、実績を継承し尚一層の発展を志し、微力ではございますが先頭に立ち前進してまいります。一般社団法人として、関係官公庁、諸団体並びに当協会会員との絆を更に強固なものとし社会における設備設計の重要性、認知度アップに繋げたいと考えております。

若手人材の確保、教育は重要な課題です。これからの中堅世代に繋ぐ指針を明確にし、目標、夢を持てるような環境つくりが急務であると思っております。

当協会の発展の為、正会員、賛助会員の皆様のご支援、ご協力をお願いして簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせて頂きます。



# 7期14年の思い

前会長  
御挨拶

一般社団法人宮崎県設備設計事務所協会

名誉会長 岩 満 国 弘

平成18年（2006年）度から7期14年間の長きにわたり宮崎県設備設計事務所協会《任意団体》及び社団法人日本設備設計事務所協会宮崎県支部の設備関係団体として代表の重責を背負ってまいりました。

その間、宮崎県においては、平成22年の家畜伝染病口蹄疫、平成28年の熊本大地震など自然災害等による大きな被害に見舞われ、ここにきては新型コロナウイルスにより全国的に感染防止のため思うような経済活動ができない状態にあります。

さて、我々を取り巻く環境としては、建設業全体の冷え込みが懸念される中、平成26年に建築士法改正で建築設備士に関する基準の改変により、宮崎県においては長年の要望でありました、設備設計登録制度を条件付きながら対応頂き、特に公共施設改修設計に於いて貢献できる状況で設備設計業務の必要性がアピールできています。

本協会も平成25年10月に一般社団法人宮崎県設備設計事務所協会として登記いたしました。法的にも責任ある団体として公認頂き、全国連合会の一員として今後ますます変貌するであろう建築設備に追随できるよう全国の同志とともに研鑽し、専門技術者としての地位の向上に期待するところです。

最後になりましたが、本協会の会長として至らない私を7期にわたる長きの間支えて頂いた正会員、賛助会員の皆様、また設備設計団体として支えて頂きました各協会の皆様そして多くの関係者様に御礼を申しあげます。

これからも、協会の一員として業界発展のために協力させて頂きますことをお誓いすると共に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願い退任の挨拶といたします。



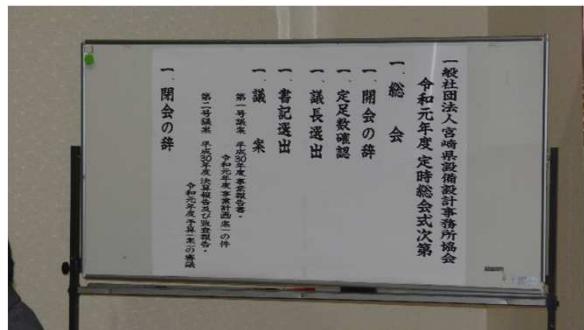
## 活動報告

### ★令和元年度（一社）宮崎県設備設計事務所協会定時総会開催

2019年 6月14日 場所：ニューウェルシティ宮崎

今年度の総会では平成30年度の事業及び決算、令和元年度の事業計画及び収支予算の了承を全員一致で得られました。総会終了後、来賓や賛助会員を招いて、意見交換会が開催され岩満会長、来賓の方の祝辞や徳丸賛助会会長の挨拶に始まり、和やかに会は進む中、例年以上に今後の設備設計事務所協会への発展や期待度の大きさを改めて実感したものです。

記：副会長 恒吉





★第20回（一社）宮崎県設備設計事務所協会ボランティア活動

2019年10月19日 場所：知的障害者総合福祉施設 向陽の里

第20回目となりますボランティア活動を向陽の里にて、参加人数148名のもと行いました。当日は晴天にも恵まれ怪我等もなく、清掃活動を終える事が出来ました。今後も地域社会振興の為、継続して活動を実施していきたいと思います。

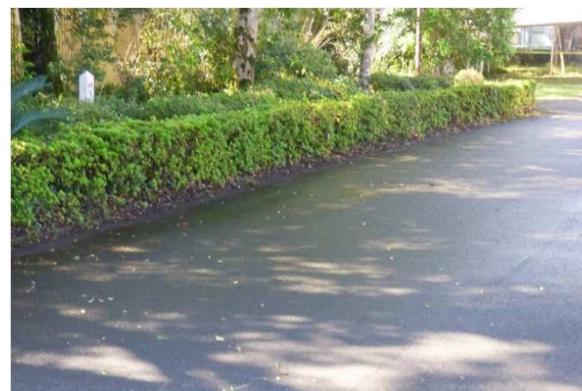
【清掃活動の内容】

- ・管理棟前清掃（草むしり、枯葉除去）
- ・幹線道路清掃（道路隅に溜まった土の除去、草むしり、枯葉除去）
- ・体育館廻りの清掃（外部クモの巣取、窓拭き、草むしり）

記：事業委員長 坂元



No6



★令和元年度（一社）日本設備設計事務所協会連合会

九州・沖縄ブロック協議会 沖縄大会 参加

2019年 11月7日 会場：沖縄ハーバービューホテル

本年度は沖縄県で初めて九州・沖縄ブロック協議会 沖縄大会が開催されました。本県から正会員5社、賛助会員3社の参加でした。

「イチャリバチョーデー九州・沖縄はひとつ」をテーマに技術者不足、後継者の問題、保有資格、事務所登録等いろいろな課題がある中、業界の持続的発展を図る為にはどのような課題があるのかを討議されました。

「イチャリバチョーデー」とは島言葉で「出会えば皆兄弟」の意味だということです。

今回、沖縄のシンボルである首里城を焼損し観光できませんでしたが 少しでも早い復興を願います。

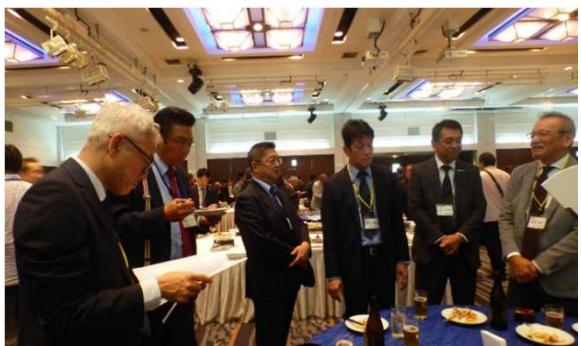
記：広報委員 中原



No8



No9



★(一社) 宮崎県設備設計事務所協会 冊子贈呈式

No10

2019年11月12日

場所：県教育委員会

「くうき・みず・でんき」の冊子を県教育委員会に319冊、贈呈しました。県内の中学校・高校に配布される事をお願い致しました。県教育長以下、職員の方々に対応して戴き、配布に至った説明に賛同を頂き、有意義な時間となりました。

建築設備とは何なの？社会の何処に活かされているの？等の初步的な質問から具体的な内容を絵として解説された冊子となっていますので中学校の生徒さんにとっては理解しやすい内容となっています。

これを機に将来、建築設備業界に関心を持って貰い、担い手として活躍する生徒さんが出てくればとの思いで、今回に限らず、今後も協会として発信していきます。最後に顧問の横田県議会議員の御配慮に感謝致します。

記：副会長 恒吉



## ★ (一社) 宮崎設備設計事務所協会 忘年会 開催

2019年 11月29日 場所：忘年会 ニューウェルシティ宮崎

令和元年度、忘年会が開催されました。

岩満会長、来賓の方の祝辞に始まり、和やかに行なわれました。

一年の反省、来年への希望など様々な意見交換が行われ、今後の設備設計事務所協会への要望と重要性を改めて感じた会となりました。

最後に徳丸賛助会会長挨拶で無事盛会に終わりました。

ご参加された皆様、ありがとうございました。

：副会長 馬崎

